

- あたらしい外国人技能実習制度について
- 日本語能力のうでだめし!
- 長時間労働による睡眠不足と生産性低下について

あたらしい外国人技能実習制度について

今年開始予定の新たな外国人技能実習制度について発表がありましたのでお伝えいたします。

あたらしい制度は「実習期間が延びる」、「受入れ人数が増える」等、緩和される面もありますが、実際には「全く別の制度が始まる」と言って過言でないほど、細部にわたり内容が変更され、受入企業様に対する審査も厳しくなり責任も強化されることが発表されました。

代表的な変更点については、資格変更時・帰国時の技能試験の受験を必須化、その合格率も確認されます。また、個々の企業様毎に指導体制や法令違反の有無など、評価を120点満点のポイント制度で客観的に示します。さらに、技能実習の計画書も実習生個人ごとに組合指導のもと、受入れ企業様が作成する必要がある

など、様々な不正行為防止策が策定されております。そして、対象は施行後に新たに受入れる技能実習生だけでなく、現在在籍中の技能実習生も含まれます。

新制度が始まれば、申請書類の作成など様々な場面において、これまで以上にご協力をお願いすることが増えると考えられます。

現在の情報では11月頃には新制度がスタートする見込みで、それに向け今後制度の詳細について順次発表されていく予定となっております。

組合でも詳細が決まり次第、このYD通信の紙面上やWEB、または担当者より直接御案内してまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

実習生のみなさんへ 日本語能力のうでだめし!

日本語能力検定

試験日:7月2日(日)

受付期間:4月28日(金)迄

※組合を通じて申込み場合は4月15日(土)迄に担当者までご連絡下さい。

希望者は受付期間中に申込をして下さい。組合を通しての申込みも可能ですので担当までご連絡下さい。

JITCO主催

日本語作文コンクール

募集期間:

2017年4月3日(月)~5月12日(金)必着

テーマ:

自由(特定のテーマは設けられておりません)

応募形式:

原稿用紙3枚 文字数1,200字以内

詳細はJITCOのWEBをご覧ください。

市区町村の日本語教室、講座

市区町村や国際交流協会、ボランティア団体などが行っている日本語教室や講座は、安い費用または無料で受けることができます。通常、1週間に1~2回、公共施設や学校の空き教室などで開かれています。地域の協力によって運営されているところが多いので、日本語を学習しながら、地域の人たちと交流し、生活の情報を得ることができます。詳しくは地域の役所や国際交流協会に問い合わせてください。

長時間労働による睡眠不足と生産性低下について

長時間労働が健康障害を発症させる可能性について、厚生労働省(以下、厚労省)が公表し、それらの抑制を適時指導しておりますが、厚労省の公表データ・公開資料をまとめると、長時間労働が健康に及ぼす原因は主に「睡眠不足」でした。

厚労省のワークライフバランスにかかる審議会でも引用されたアメリカ人医師 Balenky 氏が行った睡眠時間と作業効率の関係です。これによると9時間睡眠グループは作業中の誤りの回数(作業効率)がほとんど無いのに対して、3時間睡眠のグループは

実験3日目から一気に悪化(増加)しているのが判ります。それ以外の5時間、7時間睡眠の各グループも同様に3日目から悪化傾向にあることから、人間は睡眠時間を短縮した場合、3日目からはミスが増え作業効率が極端に悪化する傾向があるのが判ります。また、アメリカの別の大学の研究調査結果も同様で、1日4時間、6時間、8時間の睡眠を取る3つのグループに分け、記憶力や認知能力、問題処理能力などを試す試験をしたところ、6時間睡眠と4時間睡眠のグループでは「ちよっと眠い」という程度の自覚

症状しかなくても、脳の活動能力が徐々に低下し、2週間後、両グループの能力は、3日間寝ていない人と同レベルにまで下がっていたという結果となったようです。これらのことから、脳の活動を維持するためには、ある程度の睡眠時間を確保する必要があり、業務の作業効率や生産性を維持、向上させるためには、まずは作業担当者に十分な睡眠時間を取ることが必要と結論付けられます。なお、操業状況は各企業によってそれぞれ異なりますが、長時間労働による慢性的な睡眠不足は、業務処理スピードの低下、

ケアレスミスの増加といった生産性低下を引き起こすことで、業務量を相対的に引き上げ、時間外労働を増加させるといった負のサイクル*1を発生させ、場合によっては、作業担当者の健康を害して就労を困難にさせることも考えられますので、外国人技能実習生が慢性的な長時間労働にならないよう労務管理の徹底をお願い申し上げます。

*1.「長時間労働」→「睡眠時間の短縮」→「生産効率の低下」→「時間外労働の追加」→「長時間労働」

出典、「長時間労働者の健康ガイド(独立行政法人労働安全衛生総合研究所)」より抜粋